

MDAの取組を活用した国境離島の状況把握等に関するPT報告書 概要

国境離島の重要性と課題

- 管轄海域の外縁を根拠付ける**基線周辺の状況把握**※は、**管轄海域の保全上、極めて重要**

※自然浸食等による海岸線の著しい後退や大規模な掘削行為等の有無を確認。

- H29以降の内閣府の取組をみると、領海の基線周辺の**状況把握が十分ではなく、国境離島情報の一元的なデータベースがない**、といった課題

実施すべき取組

情報収集

- 衛星画像等を活用し、**全島の正確な状況を速やかに把握**
- 重みをつけた**定期的な状況把握**
- 精密な**基線情報の把握・更新**

情報の集約・共有

- 国境離島データベースの構築**
- 状況把握の実施状況の更新**
- **実施状況の関係府省庁間共有**
- MDA情報共有システムの掲載情報の充実**

(我が国が現に保全・管理をすることができる国境離島を対象とする。)

我が国の領海・EEZ等の保全

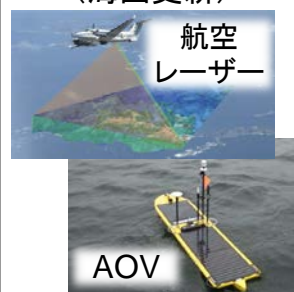
内閣府 総合海洋政策推進事務局

状況把握・基線更新情報

- ・状況把握の実施状況の更新・共有
- ・国境離島の情報提供の協力依頼

関係府省庁

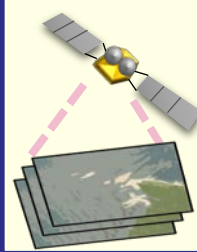
精密な基線決定
(海図更新)



状況把握



衛星画像の更なる活用



- ①全島の正確な状況を速やかに把握
- ②重みをつけた定期的な状況把握

国境離島・基線情報

状況把握・基線更新情報

海洋状況表示システム

(MDAの情報共有システム)

国境離島データベース (仮称)

(既存の「低潮線データベース」を参考に構築)

国境離島、基線に関する情報を掲載



MDAの情報共有システムの**掲載情報の充実** (例) 法令・条約等の海域の範囲や海域の利用状況などの情報の可視化

国境離島の情報

地方公共団体・一般住民

(期待)

- ・現場の第一報の政府への提供